

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立本匠中学校

②思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体①

＜「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業の推進・深化(思考力、判断力、表現力の育成)＞

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させることにより、主体的・対話的で深い学びを実現。

「個別最適な学び」

- 全ての生徒が授業のねらいを達成することを目指し、個々の生徒に応じた学習を進める。
 - ・生徒の興味・関心等に応じた異なる目標の設定。
 - ・生徒自身が自らどのような学習を進めていくかを考える事ができるような指導の工夫。
 - ・生徒自身がICTを活用し、情報の収集、データの処理や視覚化、レポートの作成や情報発信の活動ができるような指導の工夫。

ゆるやかな「協働的な学び」

- 必然性あるペア、グループ活動を行う。
- 生徒個々の状況(定着、理解、思考)に応じた生徒同士の学び合い、教え合いを多く行う



個別最適な学習・協働的な学び

個別最適な学び・協働的な学び
ICTを活用した授業

取組の具体②

＜自分の考えを表明できる場の設定(表現力の育成)＞

- 全校生徒、教職員が輪になって、全員が自分の考えを発表する場の設定。

(例)学期の区切りに生徒、教職員が反省や抱負、今後やりたいことを発表し合う。

- 総合的な学習の時間、行事等における学校外の人への意見発表の場の設定。

(例)地域の方々との交流活動、交流作業の際、地域の方々に向けて意見発表を行う。

- 行事等を通して生徒同士が思っていることを表現し合う場の設定。

(例)行事を行っての感想を必ず、生徒数名が発表する。



生徒、教職員による意見発表



お互いの良いところを見つけ合う「ほっこりの木」